

## 議員派遣結果報告書

平成 29 年第 2 回定例町議会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

平成 29 年 9 月 12 日

上富良野町議会議長 西村 昭教 様

議会運営委員長 金子 益 三

記

### 件 名 北海道町村議会議員研修会及び先進地調査

#### 1 調査及び研修の経過

平成 29 年 7 月 4 日、議員 13 名で北海道町村議会議長会主催の北海道町村議会議員研修会に参加するとともに 7 月 5 日、空知管内岩見沢市の株式会社水ワイナリーにおいて 6 次産業化の取り組みについての研修を行った。

#### 2 調査の結果

##### (1) 北海道町村議会議員研修会（札幌市：コンベンションセンター）

標記研修会において 2 名の講師からそれぞれ次の演題の講演が行われた。

##### ①演 題 『トランプ政権と日本経済－地域経済への影響は？』

講 師 慶應義塾大学 経済学部教授 金子 勝 氏

##### 要 旨

アベノミクスは「異次元の金融緩和」を行うとして、日銀が国債を 400 億円も買い付けでおり、金利が上がると立ち行かなくなる。有効求人倍率が高くなっているのは、分母である生産年齢人口が減っているのが要因であり、景気回復のバロメーターとしての有効求人倍率の構造が変わっている。

アメリカのトランプ政権により日本経済にも影響するが、来年の中間選挙でトランプ政権への評価が下る。

いずれにせよ、アメリカは TPP 離脱を宣言しており、日欧 EPA の決着が日米 EPA (FTA) 交渉にも影響してくる。

産業構造も変わってきており、エネルギーも分散型となってきた。農業などあらゆる産業でこれまでとは大胆に変えていかなければならないのではないかと。

②演 題 『日本政治の昨日・今日・明日』

講 師 日本放送協会 解説副委員長 島田 敏男 氏

要 旨

一昨日の東京都議会選挙の自民党大敗、小池新党の大勝が国政にどう影響して  
くるのか、分析が必要である。安倍首相は3月の自民党大会で総裁任期3期9年  
までと延長されたことにより、憲法改正を任期中に進めようと明確に決意して、  
その後4年間のビジョンを描いたのではないかと。これまでの世論調査から安倍政  
権の国政運営に対する国民の見方が見えている。丁寧な説明が必要であるが、衆  
参3分の2の会見勢力がある今、数の力で押し進めてくるのか。

2つの講演を拝聴し、今後の活動の参考となった。

(2) 先進地調査 (空知管内岩見沢市: 株式会社宝水ワイナリー 代表取締役 倉内 武美 氏)

宝水地区ではワイン用ぶどう栽培をしている農家が数戸あり、当初は、水田の  
転作事業として友人からブドウの苗を貰って植えた事が始まりであった。当時の  
岩見沢市長の後押しもあり、平成14年に市の補助を受け「特産ぶどう振興組合」  
を立ち上げ、平成16年には国の補助と市の融資により(有)宝水ワイナリーを立ち  
上げ、翌平成17年に株式会社宝水ワイナリーとなって醸造を始めた。当初は、栽培面  
積4.5haであり、10haの栽培面積になればワイナリーを立ち上げようと思ってい  
たが、当時の岩見沢市長の後押しや補助金等もあり、思ったより早くにワイナリ  
ー操業となった。しかし、初代代表の北海道ワイン(株)鶴沼ワイナリーの方が、ア  
ジアの富裕層など海外へのワイン販売を試みていたが失敗し、その借金や在庫を  
引き継ぐ形で2代目代表として現在の倉内氏が就いた、地元で愛されるワインにす  
るために市内の酒屋で販売を依頼した。過去に冬の時期に酒類卸会社で配送をし  
ていた経験が幸いし、ワイン販売は卸売会社を通して地元での小売りされるよう  
になり、地域から愛されやがて地方へと販路が広がり始めた。過去に行われてい  
た宝水地区の秋祭りも運営が厳しくなり、ワイン祭りとして宝水ワイナリーで行  
ったりして、地元にも認知されていき、現在は南空知8ワイナリーでワインピク  
ニックとして市の公園で開催してきている。2013年に「ぶどうの涙」という映画  
撮影があり、その影響からも観光客が増えた。

6,000ℓ醸造性能があるが、原料等の関係から最大で4,200ℓしか醸造したことがな  
い。受託醸造も受けているが、現在、美瑛町の農家1軒のみ。

栽培面積は現在約9haのうち、5.5haが自社所有で、3.5haほどが貸借となっ  
ている。

近年我が町でも、地元農家のワイナリーによるワイン販売や、ブドウ栽培をは  
じめ、地元の特産品のビール大麦とホップで醸造した地ビールなど6次産業化の  
動きが活発になってきているので、宝水ワイナリーのように先駆的活動をされて  
いる農業者の視察は今後の大きな参考となった。